関大
発行所
関西大学校友会
吹田市山手町3丁目3番35
発行人　神屋歓民蔵
電話大阪(388)1121代表
振替口座大阪55594番

『関西大学85年史』発刊へ

編纂委員決まる

新資料加え読物風に

母校関西大学は明治十九年関西法律学校として創立以来、今年十一月四日の創立記念日で八十五周年目を迎えたが、大学ではこれを記念して「関西大学八十五年史」を編纂することになり、委員会を設置してその準備を進めている。

年史編纂は、創立八十周年記念事業の一環として八十年史の編纂が企画されていたが、大学紛争等の諸事情により、遅れていたため、これを八十五年史に改めて、紛争等についても合わせて収録することにしたものである。

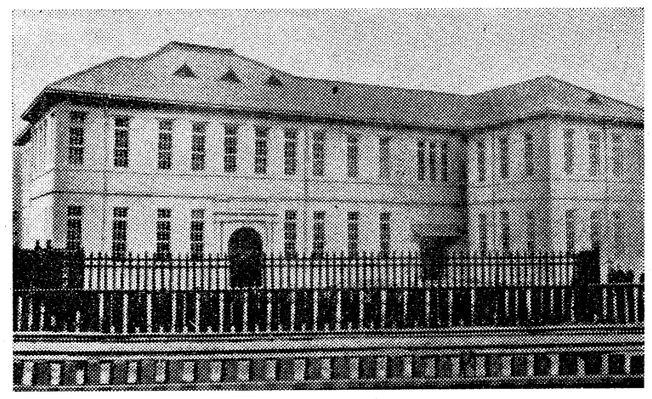
第一回の編纂委員会は、十月二十七日関大会館で開かれ、委員長に久井理事長を選出。また執筆主任に横田健一文学部教授、同補佐に薗田香融文学部教授が選ばれ、草稿作製を依頼、各委員がそれを検討することになった。編集方針として、八十年史は七十年史が既刊されているので、その後の十年間の史料に基づいて編集されることになっていたが、新しい資料の発見などで、一部書き代えの必要が生じたため、八十五年史は各時代を再調査して執筆。読物風に編集し、五百頁位のものとすることになった。出版予定は臨稿が来年九月頃、出版は再来年の三月までの計画。予算は七百万円位かかるものと思われる。

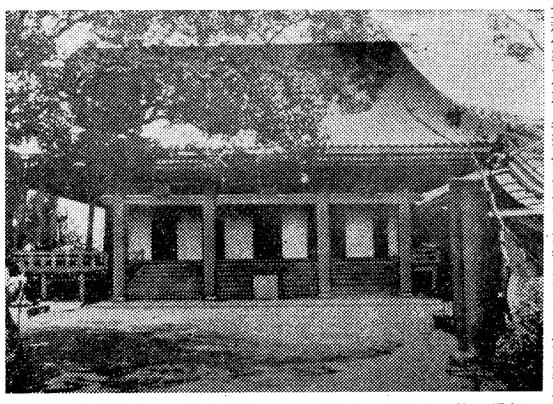
年史編纂委員は次のとおり。

久井忠雄理事長（委員長）　広瀬捨三学長、今井康常務理事　樫本信雄理事（校友会長）　原英次法教授、横田健一文教授（執筆主任）　薗田香融文教授（同補佐）　津川正幸経済教授　亀井利明商教授　辻岡美延社教授　津田昌利工教授　北川垣高・中校長、石島洋介幼稚園長　黒見復二出版・広報部長　内田兼俊大学事務局長　森本靖一郎教育後援会幹事長

資料収集にご協力を

なお年史の編纂には資料の収集とその分析整理に多くの時間がかかるが、文書（会議議事録、往復諸文書他）、記録（写真、映画フイルム、新聞、雑誌、講義ノート他）、出版物（大学関係及び校友の著書など）その他の資料を所蔵している方は、出版・広報課までご連絡いただきたいとのこと。





【上】東海道線を前にした福島学舎　【下】創立初期に講義の行なわれた興正寺

85年史は新構想で

横田健一

昭和三十二年に関西大学七十年史が出版されて以来、はや十三年がすぎ去った。その間の関西大学にはいろいろの事件があり、昨年の大学紛争は特に顕著な、本学史上最大の紛争事件であった。本学史の編集には、調査しなければならぬことは山のようにある。書きにくいことも多く、頭が痛い。

昭和四十年が本学の創立八十周年で、八十周年史の編集が八十周年記念委員会で決議され、三十九年の夏、私に委嘱があった。しかし、私は同年九月から学部長に選任され、非常に大多忙となり、事実上執筆の暇がなかった。その上正直について非常に書き難い事件があった。三十三年に起こったS教授事件である。編集委員長の学長がこれに関係があるからである。

現代史は書きにくい

歴史家の間で現代史が書きにくいといわれている。関大七十年史を書いたとき、昭和二年の宮島事件とよばれた大ストライキが非常に書きにくかった。宮島綱男氏が昭和三十年当時、現職の理事であり、その宮島氏が排斥された事件を書かねばならぬからである。しかし、一か月余もの長期にわたる大ストライキのあげく、学長や総理事が引責辞任し、七名の教授が辞職した大事件を書かないわけにはゆかぬ。当事者の話を聞き判断を下さねばならぬ。私は二回、各々二時間ずつほど宮島氏に面会して話をしてもらった。氏は「お前の書いたものは読まんぞ」といいながらも話をしてくれた。岩崎学長が私の書いた記事をよんで、「君は宮島さんを褒めすぎじゃ」と私にいわれたが、私は公正に宮島氏の長所も多くの欠点も指摘したつもりである。

およそ大学の歴史でも、会社の社史や自治体の歴史でも、内紛のごときものには触れたがらず、そういう事件を省略したり、簡単にすませてしまうことが多い。

「関西大学五十年史」のときも、さすがに昭和二年の大ストにはふれているが、大正三年の大ストライキ（休業一か月に及ぶ）、昭和五年の天六二部のストや昭和八年の文科廃止反対ハンガー・ストなどは一言もふれていない。

キレイごとは無意義

おそらく、発展した面ばかりをしるした校史や社史はサッパリ面白くない。そうしたキレイごとをならべた方が体裁もよく、また無難だが、欠点をしるすような歴史記述にはことなかれ主義の首脳部の圧力がかかり勝ちなのである。ただが、校運いよいよ隆昌をいう校史にどんな意義があるのだろう。

家永教科書裁判というものを、存知だろう。家永三郎教授の日本史教科書は、歴史上の各時代における社会の矛盾、一揆や民衆の貧困や日本の対外侵略などといわば、過去の日本人の暗い面や醜い面に他の教科書よりは比較的多くふれているため、文部省のもっと日本人の生み出した優れた文化遺産や国民性の長所などを書き、若い世代に自信をあたえ、国を愛する気持を起こさせるべきだ。暗い、醜い面については抑えるべきだという検定基準をもつ。確かにそうした日本の伝統文化の遺産を次の世代に知らせることは結構であるが、また過去の日本の暗い面や欠陥を知らせ、それをどのように先人たちが解決すべく努力し、克服したかを知らせることも必要だ。これは歴史というものが必然に持つべき性格である。

暗い面や紛争の面をふくむ歴史を書くことは非常にむつかしい。それは当事者やその子孫・親族が現にいて、その事件が歴史としてはっきり区別せねばならない。権力をもつ体制当局や長老等への遠慮からキレイごとの記述をしてはならない。

さて、八十五年史そのものの構想と今後まもなく始められるべき百年史編集への準備について語らねばならない。

昭和三十九年夏に八十年史編集の実、また同氏の墓や祖先についてあるいは本年五月十二日、薗田教授と私とが信州松代へ探訪旅行をおこない、創立者中の中心人物井上操の遺族にあって知り得た事実、また同氏の墓や祖先についてあるいは本年五月十二日、薗田教授と私とが信州松代へ探訪旅行をおこない、創立者中の中心人物井上操の遺族にあって知り得た事実、また同氏の墓や祖先についてあるいは本年五月十二日、薗田教授と私とが信州松代へ探訪旅行をおこない、創立者中の中心人物井上操の遺族にあって知り得た事実、また同氏の墓や祖先について

読み易さ、興味深さ

学生生活にも力を入れて

宮島綱男、白川朋吉、松本静雄、三好万次、神宅賀寿恵、等歴代理事長、原田鹿太郎、春原源太郎、宇佐美正祐諸氏等理事経験者など昔の経験談をききたい人々が多くなくなられた。おそらく興正寺時代、江戸堀時代を知っている校友は数えるほどしかないであろう。福島の初期でも同様である。早くそうした校友の方がたをおたずねして話をきき、昔の写真やノート、教科書、雑誌類を見せてもらって写真をとったり、寄贈して頂いたりせねばならぬが、手がまわらないのである。

おそらく次の百年史編集にあたっては、大正時代の関大を語り得る校友がどれだけ居られるであろうか、心もとないことである。

そういう古いノートや講義録や雑誌、教科書類の収集が急がれるのは、その本人にとっては大切なもので保存しておられても、遺族子孫の無関心な方にとってはこんな古くさい汚いノートなんか邪魔だとばかり、屑屋に売ったり焼いたりしてしまわれるからである。

前に七十年史を編集した時のことである。本学の初期から経営の中心として従事し、理事や附属校の校長にもなった方の令息を訪問し、故人ならば創立者はじめ初期の講師であった有名な弁護士や学者たちの書翰はじめ学校関係の書類など多くご所持あろうから拝見したいと申し入れたところ、「たしかにそんなものは沢山あったが、皆邪魔だし値打もないものと思って風呂のたきつけにして焼いてしまった」との話であった。

こうして歴史の編集には何としても資料がなくては出来ず、その収集は非常な苦労である。「関西大学新聞」など貴重な資料であるが、大学図書館にはほんの一部しかなく、全部揃ったコレクションは未だ見ることができない。七十年史の編集には、矢田教授が保存しておられた四十九号以下（それも欠号がある）を拝借して辛うじて渇をいやした。

いわんや学友会所属各部でクラブごとに出している雑誌のごときものは、部員のみに配布するため図書館には皆無に近く、私なども二、三の教授に少数を見せて頂いたくらいにすぎぬ。その点では今でも学生諸君は多くの新聞を作り発行し、さらにビラは無数に刷っているが、もらった人は一見して捨ててしまい、保存する人は先ず皆無に近い。私ども は遠ぼったやゴミ箱に落ちているものでも来見のものはつとめて拾って帰り保存するようにしている。

大学の公的な古い文書でも、本学の保存は良好といえない。私立大学展がデパートなどで開かれると、早、慶両校はもとより、同志社、関学など創立当初以来のおびただしい良質の資料を出品している。関大のそれは全く情ないほど何もないのである。

早稲田、慶応、同志社等の諸大学を訪れるとその大学史編纂室は非常に立派な完璧な編集、学史編集や資料収集に意欲ある編集員が何人かいて、資料類はなくの巨大な書架に整然と整理分類されているのを見つける。本学も昨今やっと出版広報課の一隅に資料棚を設けてもらえたが、専任の職員もなく、私と薗田教授とが多忙な教務の合い間にボツボツやるだけである。資料類も狭い個人研究室の片隅に押しこまれていた程度であった。

大学史の編集は大学全体の公共的な大事業だから、早、慶、同諸大学ほどにはとても無理かもしれぬが、明治や法政大学程度のことはしてほしいものだと思う。これらの大学では、とにかく編集室や一人程度の専任と若干の資料収集予算があるのである。

編集に三つの行き方

さて編集の方針であるが、大学史の編集のやり方には大別して三つの行き方がある。

第一は学関係の一切の制度、機構、経営、教学、研究等の変遷関係人物の詳細な伝記や、種々の紛争事件から学生生活に至るまでを詳記したものである。慶応大学百年史、六巻、一巻平均一千ページ、計約六千ページに及ぶものがあるが、充分手がまわらなかった。前回は特に創立と初期の事情について詳しく書くようにとの岩崎委員長の方針もあって、第一回卒業生の武田宣英、内田重成両氏や第三回卒業の池田重吉氏、第六回卒業の野田文一郎氏、第九回卒業の松山藤雄氏等、これらの方は島時代にかけての時代の卒業生の聞きとりや資料調査が充分できなかった。こんどはそのあたりをやらねばならぬが、その間にもつぎつぎと故人になってしまう人が多い。岩崎明一前委員長をはじめ、それである。十八年間かかり、多数の編集員を使って作りあげた。早稲田は現在百年史の編集を開始している。あと十二年で百年祭になるのに時間が不足だとさえいっている。広大な四十七坪の室に常勤の編集員が七名で、さらに若干名をふやすといい、その上に執筆の教授、名誉教授クラスが十名近くいる。経営費のみで年額これまで約二百八十余万円で、さらに強化の体制にある。ほとんど編集用予算らしいもののない関大と大ちがいである。

さて第二のやり方は、制度、経営、機構の変遷などを概述し、詳細をはぶき、むしろ人々の興味をもつ有名卒業生の在学中の活動や名物教授の講義の仕方、学風、種々の事件の描写、学生生活の風俗など も折りこむものであって、「早稲田大学七十年史」のように多く写真を入れたり「同八十五年誌」のように興味深く読めるようにしたものである。ただこれはいうはやすくして行なうは難く、早稲田のばあい、編集顧問として、指導的な立場にある木村毅名誉教授のように文才に富む人のよき指導にもとづく。

第三には、国立大学とくに旧帝大にみられるもので、「東京帝国大学五十年史」「京都大学五十年史」にみるように大学の研究について詳述するものである。これらの大学は文部省から豊富な予算を与えられ、私大のように財政的に苦悩し、資金調達に奔走することがないから、経営費がほとんど問題にならない。その反面、教授は研究に専念でき、学会の権威としてそれぞれ、一揆や民衆の貧困や日本の対外侵略などといわば、過去の日本人の暗い面や醜い面に他の教科書よりは比較的多くふれているため、文部省のもっと日本人の生み出した優れた文化遺産や国民性の長所などを書き、若い世代に自信をあたえ、国を愛する気持を起こさせるべきだ。暗い、醜い面については抑えるべきだという検定基準をもつ。確かにそうした日本の伝統文化の遺産を次の世代に知らせることは結構であるが、また過去の日本の暗い面や欠陥を知らせ、それをどのように先人たちが解決すべく努力し、克服したかを知らせることも必要だ。これは歴史というものが必然に持つべき性格である。

暗い面や紛争の面をふくむ歴史を書くことは非常にむつかしい。それは当事者やその子孫・親族が現にいて、その事件が歴史としてはっきり区別せねばならない。権力をもつ体制当局や長老等への遠慮からキレイごとの記述をしてはならない。

さて、八十五年史そのものの構想と今後まもなく始められるべき百年史編集への準備について語らねばならない。

昭和三十九年夏に八十年史編集の実、また同氏の墓や祖先について

募金順調にすすむ

早くも一二百五十四万円

昭和四十五年度事業計画の一つ「本部事務機能整備」のための募金は、前号既報のとおり「趣意書」をもってその推進にあたっているが、十一月十日現在までに、目標額五百五十万円に対し、百八十六名の方々から二百五十四万円がよせられ、順調に進んでいる。

（寄付者芳名二面に掲載）

募金は十二月末までの予定で進められているので広く校友諸氏の賛助をお願いします。

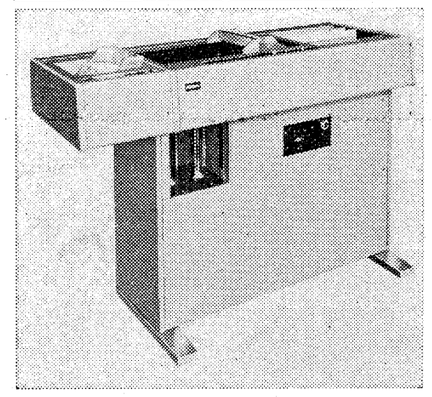
一方、事務器の整備作業についても事務機器導入の基本的作業であるカードのレイアウト（コード設定）も終り、実行段階に移すための試験的カードの作製によるテストが行なわれている。

今回導入の事務器は「タナック・セレクター531-CPM」で、校友会の業務内容を、特別委員会で検討した上選定したもので、コードにマークしたものを、一分間八百枚の速度で検索でき、カードの復帰装置付きである。

セレクター校友原簿カードは、上欄に名簿作製用の氏名、卒業年部科別、住所、勤務先等を、下欄は検索用の氏名五十音別、卒業年部科別、住所の府県市区、職業、会費等のコードを設定してあり、右欄は、新聞"関大"の発送、通信用の宛名が記入されている。

これにより、校友会名簿の作製にはカード上欄を利用して複写し原稿にできるので、筆写の手間が省かれ、原稿作成費が著しく軽減される上、転記の誤りがない。人名索引は五十音順に正確、迅速に検索転列でき手数を省くことができる。

また校友会活動の母体である支部や職域会等から要望のある支部職域別の名簿なども、全校友の中からその必要とするものを迅速に検索できるほか、事務の能率化に役立つものと期待されている。



新しく導入されるタナック・セレクター

秋の叙勲者

【勲三等瑞宝章】

▽永井　嘉吉（大11専経・評議員・代議員）経団連理事　70歳

▽梨岡時之助（大10専法）元地裁判事　75歳

▽原　亨（関西大学診療所長）大阪医大教授　75歳

【勲四等旭日小綬章】

▽梅原貞治郎（大11専法・評議員・代議員）弁護士　70歳

【勲四等瑞宝章】

▽岡野　衛士（大11専法・校友会顧問）大阪証券健康保険組合理事　72歳

【勲五等旭日中綬章】

▽山口富次郎（推）元吹田市長　70歳

二氏が大阪府教委表彰

大阪府教育委員会は十一月三日午前十一時から大阪東区の府立婦人会館において教育功労者や優良職員、永年勤続教員などを「文化の日」を記念して表彰した。本学関係では次の二氏が優良職員として表彰された。

▽槇正君（昭二七学二史・昭二九院修経・代議員）天下茶屋中学校長

▽余木朝一（昭三五学二国・組織部長）港高校教諭

校友会本部事務機能を整備するため

募金趣意書

近年母校の規模が大きくなって、現在の卒業生総数は十一万五千名を超え、年々約五千の新卒業生が加わりますので、十五万名となるのも近々数年のことでありましょう。

校友会は会員相互の親睦と、母校の発展に寄与することを目的とし、四年ごとに発行する校友名簿と、月刊新聞"関大"の発行は、本会の二大事業でありますが、年々会員の増加に伴い事務量は著しく増えてまいりました。この増大する事務量を能率的に処理するため、本年七年本部事務機能整備特別委員会を設置して検討し、常議員会において慎重審議の結果、本会将来のために、このたび本部事務機能整備のためナック・セレクターを導入して、本部事務機能を整備することになりました。

つきましては、これが資金をご理解ある校友の皆さんのご協力によりまして達成いたしたく、ここに皆さまのご賛助を切にお願い申し上げる次第であります。

関西大学校友会長　樫本信雄

期限　昭和四十五年十二月末日

＜寄付募集要項＞

寄付目的　本部事務機能の整備

寄付目標額　五百五十万円

寄付額　一口　三千円

送金方法　振替郵便または現金書留その他確実な方法でご送金下さい

宛先　〒564　吹田市千里山　関西大学会館　関西大学校友会

学部長代理など決まる

十月一日付就任の新五学部長のもとで次のように役職者が決定。

法学部
学部長代理　本浪章市教授
学生主任　岩田健次教授
同　奥村郁三助教授
学生相談主事　明石三郎教授
同　高橋三知雄専任講師

文学部
学部長代理　三毛川正教授
学生主任　神堀忍助教授
同　島田三千男助教授
学生相談主事　新谷浩堆助教授
同　渡辺幸博助教授

経済学部
学部長代理　有田稔教授（なお10月22日付で佐藤博教授に変更）
学生主任　山本繁雄教授
同　小杉毅助教授
学生相談主事　上田昭三教授
同　貞木展生助教授

商学部
学部長代理　亀井利明教授
学生主任　長砂実助教授
同　中辻卯一助教授
学生相談主事　大橋昭一教授
同　高柳竜芳助教授

社会学部
学部長代理　池田進助教授
学生主任　岡田至雄助教授
同　高橋雅春教授
学生相談主事　野村昭教授
同　福島助教授

工学部
学部長代理　有安富雄教授
学生主任　山田幸一教授
同　矢野章成助教授
学生相談主事　谷口敬一郎教授
同　中野正吉助教授

葬の雫

九月には、母校の学長選挙がおわり、十月には、自民党の総裁選挙、十一月には、海の向うの話だが、アメリカの中間選挙が終った▼今回のわが学長選挙は、事務職員や学生を参加せしめたはじめての選挙であった。結果として、学生の低調な投票率は、現在の趨勢を反映したようだが、学長選挙がオール関大の規模に広げられたことに意義がある▼自民党総裁の選挙は、奇妙な選挙であった。それは、事前に、支持の分野が明確で、勝敗が明らかであったことだ。しかし、従来のように、大きな金が動いた形跡がないことと、基礎票六〇の三木武夫氏が二一一票を獲得したことで、気の抜けた興味のないこの選挙が、いくぶんか救われている▼アメリカの選挙は賑やかで、お祭りのようだという。金もずいぶん使うらしく、お国柄というほかない。それに、わが国の数十倍もある国土、それを選挙で湧きたたせるというのだから、大統領選挙などは、たいへんなことだろう▼それにしても、選挙は大切である。いかなる選挙でも、規模の差はあれ、それぞれの範囲や領域、または、団体などの傘下にある多数の人びとの指導者や、代表者を選ぶ大事な行事である。指導者を選び損ったために、その母体が機能を失い、葛藤を生じ、衰滅し、分裂するなどは、よくあることだ▼選挙には、きれいな選挙と、きたない選挙があるといわれる。買収やきたない応援票を集める金がものいう選挙は、選挙制度のいかんにかかわらず、きたない。また、相手方を誹謗する中傷やデマ、あるいは、詐術に似た巧妙な戦術をとるものもある。これらは、さらにきたない▼年あけての衆参には、参議院選挙と、地方選挙がある。わが校友十二万余は、すべて有権者であり、なかには、それらの選挙に立候補する人もある。その際、有権者としての校友も、候補たる校友も、きれいな選挙を目標に、しかも、それぞれの選挙を通じ、できるだけ多くの校友が、当選の栄をえられるよう、選挙は、はじまっているといわれる今から期待したい。

コンタクトレンズ　商標登録　メガネ　大学堂
京阪京阪ショッピングモール　ミナミ地下センター虹のまち　心斎橋　阪神百貨店　第一生命ビル専門大店

英国サビルロウコールマン社・英国T・B&サンス社日本総代理店
最高のおくりもの　カタノ紳士服地
片野洋服店
大阪市東区北浜三丁目(電停前)　電話大阪(231)五六六〇・五六七〇　大阪駅前店　第一生命ビル　専門大店　電話　大阪(440)〇七九二
カタノ良イ　カタノ凝ラヌ　カタノ崩レヌ　カタノ洋服店

誠意と技術で世界のために　SHARP　シャープ株式会社

サイフ・カバンの　GET　カタログ進呈　50ケ以上承ります　コーキ
ハンドバッグ・サイフ・カバン専門綜合卸
廣島屋本店
本社　大阪市東区博労町1—26　〒541　TEL　大阪(06)261—2431(代)
天満店　大阪市東区京橋1—7　OMM4階　〒540　TEL　大阪(06)943—2421～2
専務取締役　蔵田　廣造

配管材料　TRADE MARK EVERES　総合問屋
指定問屋　東洋バルヴ株式会社
指定代理店　住友金属工業株式会社
株式会社北沢バルブ
特約販売店　日立金属株式会社
代理店　株式会社北斗バルブ製作所
株式会社イズミ製作所
株式会社吉田バルブ製作所
中鳩バルブ工業株式会社
株式会社田渕製作所
佐野鉄工株式会社
東亜樹脂工業株式会社
株式会社寺岡製作所
江守バルブ株式会社
本社・大阪市西区立売堀北通4丁目51番地　電話大阪(06)(532)6321代表　(532)6328(夜間)
出張所・新居浜・鹿島・大分・高岡・福岡・鹿児島

信用と技術を誇る太平住宅
見て、聞いて、そしてお決め下さい
よい建築会社とは？—安心して任せられる会社。それは完成した建物を見ることです。しかし、外観だけでなく建てた方に会ってお聞き下さい。そこで納得ゆけばあとは決心ひとつ。太平住宅は毎日＝100戸近く完成していますから、どこでも見たり、聞いたりすることができます。建築の総合メーカー太平住宅の組織が資金と技術の面からお手伝いいたします。
■木造から鉄筋建築まで■住宅はもちろん店舗、医院、アパート、事務所など、すべてお引き受けいたします。
■便利な月払い方法も……少ない資金で、早い着工、残りも便利な月払いです。（公庫の併用もできます）
工費(木造)…6,000,000円　延面積…183.82m²　A.I様邸(岐阜県益田郡)
資料請求券　太平住宅　関大
請求券をハガキに貼り住所・氏名・年令・職業を記入の上最寄りの支店・営業所にご連絡ください。
大阪支店・大阪市西区靱本町(地下鉄本町駅下車東北角)　TEL(443)8821大代表
京都支店・京都市下京区四条通り室町(池ノ坊学園東隣り)　TEL(211)6351　代表
神戸支店・神戸市葺合区御幸通り(国鉄三ノ宮駅浜側)　TEL(23)4661　代表
和歌山支店・和歌山市本町(バス・市電本町4丁目前)　TEL(23)3286　代表
本社・東京都新宿区西新宿(新宿駅南口甲州街道沿)　TEL(343)1111大代表
太平住宅　建設大臣登録(ワ)第2339号　建設大臣免許(イ)第472号
全国の主要都市に支店・営業所あり

電子技術で未来をひらく　松下通信工業
消えた—押し売りの声！
玄関電話があれば安心……
お部屋の中から、あらかじめ声で確かめられるので、文字通り「門前払い」！　押し売りは電子チャイミーをさけて通りすぎます。
＜特長＞●美しいひびきの電子チャイム音（音量調整は自由自在）●屋外用子機は耐雨構造。
ナショナル玄関電話《電子チャイミー》
●VL-137(電灯線式)1セット現金正価9,850円　●VL-157(乾電池式)1セット現金正価8,900円
●お問い合わせは…ナショナルインターホーン販売(株)　大阪市北区神明町8　電話(06)364-9141　神戸営業所　神戸市長田区御幸通2丁目6　電話(078)23-6141
松下通信

北から・南から　各地支部だより

千成会　関東支部誕生
支部長に宮原氏就任

千成会では十月二十三日午後六時から、新宿歌舞伎町近江源助店において、千成会関東支部の結成をみた。同支部の結成は、昨年来より関東並びに北海地区在住のO・Bによって、かねてから設立準備中のところ、今春、前年度に引続き関西リーグ戦で優勝の栄誉を獲ち得た、母校硬式野球部の全日本大学選手権大会出場に伴う、現役応援団の大挙東上がその時機を促進させたものである。

本部よりは会長片岡恒次郎、幹事長高橋道郎、副幹事長代表久沢弘志、前現役総監督加藤孝司、現総監督徳山喜照、同監督関根蔵雄、幹事代理の井内茂之、山尾佐太郎の両氏に、現団長別所了一、幹部小野憲彦の両君が参席した。

なお、関東支部としては原田憲氏は欧州出張中のため秘書の大桑啓仁、宮原正司、赤松茂夫、桝本一郎、岡田智己、内藤進敬、松岡実、浜野誠、原田耕起、橋本猛、八野泰一、木村勇雨、寺川年一、谷垣多美、安城俊一、岩重利、沢田裕次、西川虎男、西田克己氏等、折良く勤務の関係上在京中のO・B達の参加もあって、応援団独特の活気が席に充満し非常な盛況を極めた。

特に木村勇市氏は北海地区在住人員の都合もあり、北海道支部設置に到るまでの間、一応、関東支部に参加ということで、当日は空路遥々札幌より馳せ参じられたことについて、出席者一同はひどく胸を打たれた。

定刻六時、かっての名団長桝本一郎氏の熱誠溢れる司会の挨拶に始まり、まず全員起立威儀を正して団歌の斉唱を高らかに行ない、次いで片岡会長より、関東支部の結成は恰も母校創立八十五周年、そしてまた新らたに広瀬学長の誕生をみた誠に記念すべき年の快挙であり、本会はもとより母校のため、また現役のためにも非常に心強い限りである、と隠しきれぬ喜びを満面に表わし挨拶を述べた。引続き会長より関東支部役員の発表と紹介があった。

支部長に宮原正司、副支部長に岡田智己、幹事長に内藤進敬の三氏がそれぞれ決定した。次に来賓を代表して本会の顧問である大島鎌吉氏が、支部の結成に対する祝詞と今後の発展を希う激励の言葉を述べた。これに応えて宮原支部長より、就任の挨拶を兼ね、各位の期待に添うべく努力を惜しまない、これを機として更にO・Bが心を一にして、母校の発展に寄与されたい、と力強く表明した。

このあと愈々開宴となり、大島顧問の乾盃の音頭のもとに、一同互いにこの日を慶び合い、今後の発展の為威勢よく盃を乾した。宴酣となるや、本部総会に負けじとばかりに、老いも若きも渾然一体となって和気実にあいあい。昔とった杵柄で豪快に夫々十八番を遺憾なく披露するというにぎやかさであった。

何時果てるやも知れぬこの会合も、潮時をみはからい岡田副支部長よりの閉会の辞によって、尽きぬ名残りを惜しみつつ学歌を最後にその幕を閉じた。

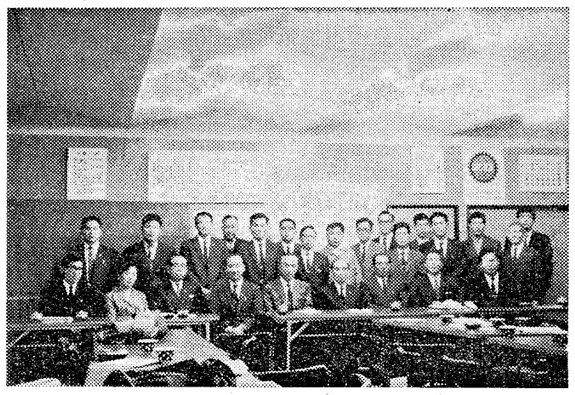
（千成会幹事長・高橋道郎）

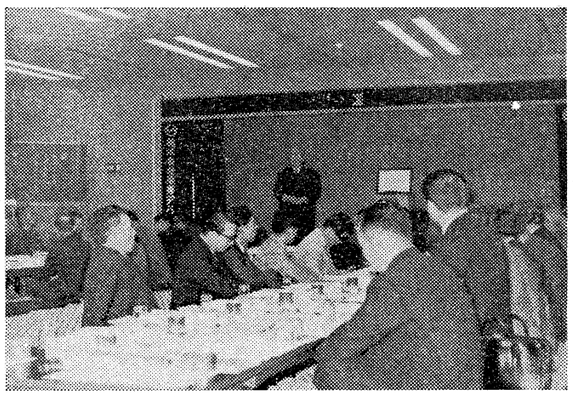
学長、会長を迎え　旭支部総会

十月二十八日、午後六時から、大阪市北区の中華料亭、新北京で校友会の大阪市旭支部総会が開かれた。

来賓として、広瀬学長、樫本校友会長、神屋敷校友会事務局長が出席し、総勢三十名。まず、東浦橋氏が、大阪市会議員在職二十年表彰をうけた寺西支部長に祝辞を述べ、樫本会長、広瀬学長から、旭支部の健斗をたたえ、校友会の現状、大学の近況などが挨拶ともに述べられ、さらに神屋敷局長から、このたびの事務機能整備についての募金の説明とお願いがあった。

ついで、懇親会にうつり、温厚な東浦氏が第一番に、おもしろい数え歌を唱い、樫本会長が、名調子の浪花節、大森氏の都々逸などのほか、玄人はだしの小唄もあり、滑稽な踊りが飛びだすなど、多芸ひんぱんで、この上ない賑やかさであった。その間、約二時間半、老若入り乱れ歓をつくし、学歌、逍遥歌を最後に、楽しく愉快なる一夕を解散した。


5年ぶりに開かれた和泉支部総会


尼崎支部の45年度総会風景

五年ぶりに和泉支部総会
池辺市長らも出席　活動の強化へ

昭和四十年十月支部総会を開催してのち、途絶えていた和泉支部では、五年ぶりに去る十月十七日午後一時半から和泉府中駅前〝山本農業会議室において総会を開催した。

当日は池辺和泉市長も特に繰合わせ出席、佐野顧問も元気な姿を見せられたほか、また土地柄信太山陸上自衛隊駐屯地から校友陸佐三名がかけつけるなど異色ある総会であった。

西口喜一郎支部長から「支部在住校友二百余名となり、今後は毎年開催できるよう支部の強化をはかりたい」と挨拶、また本部金本組織部長から支部創立当時育成の苦労話などを織り交ぜ組織の近況を報告、池辺市長、佐野顧問の祝辞のあと、支部活動の経過報告などを終え、主要議事たる役員改選の件を付議、その結果、支部長以下三役の再任を満場一致承認、幹事以下は三役協議の上後日委嘱と決定した。

その後支部組織強化の方策を協議し、校区毎の会合、校友タレントを迎え活気を上げる、家族ぐるみの懇親会の開催など、熱心に意見交換があり、これら意見を含めて執行部一任と決定した。

懇親会までの間、母校の学生生活を収めた岩波映画「関西大学」を上映、そのあと遅れて出席された樫本会長から映画に観た母校の近況に委る、紛争による最近の要望を話され挨拶とされた。当日出席者は次の通り。

本部　樫本会長・金本組織部長　藤本事務局員

顧問　佐野　浩

相談役　池辺和泉市長

会員　川端義雄　佐藤謙山　森田一嗣、池田忠雄　中野晴雄、竹田明朗　西口喜一郎　瀬戸修　中西浮雲　小林崇徳　橋本通弘　西口敏夫　古下米一　山本利治　吉田利秀　早野守　溝川一清　井阪計三　荒木康雄　小島孝敏　奥村幸雄　釜坂ヒロ子　松原良雄　和田雄次郎（順不同、敬称略）

尼崎支部総会
祝賀かねて開く

尼崎支部（松尾高一支部長）では昭和四十五年度総会を去る十月二十八日午後六時より王子神社集会場に二十次名出席の下開催した。

毎回欠かず元気な姿で出席し卒業の大先輩、加納藤石衛門、樋口哲四郎、若井伝次郎の三氏は、今回も揃って出席、当支部なっての総会模様の下で開始された。

司会は中本監事、まず小島支部長から「千五百名と推定される会員を持ちながら、現在の入会者は百七十名前後であり、更に支部発展に努力を重ねたい」と力説、その後谷口副支部長が、万博見学、役員会、二上山リクレーション等の会務を報告した。本部から坂本総務部長が出席、本部の事務機構整備をはじめとした近況の報告があり総会を閉じた。

今回会場王子神社は沢田副支部長の肝入により決ったところで、座敷とくつろぎ一献交すに相応しい落ち着いたふん囲気に、出席者もかみしもを脱いで、余技を披露し時を忘れて交歓した。出席者は次の通りである

（本部）坂本総務部長・藤本事務局員（支部）小島龍太郎支部長、谷口喜三治、沢田恒一副支部長、西森兄弟会計、中本勇監事、樋口哲四郎、若井伝次郎、加納藤石衛門、房本仙太郎、河合中、藤原光治、柳瀬宏、橋本圭三郎、元村勝美、小西義則、小山良雄、山本久米雄、神吉武一、西川重雄、藤木環博、吉岡京興、衣斐隆三、長井辰弐、清水義幸、以上敬称略

三先輩も元気に出席
阿倍野支部総会ひらく

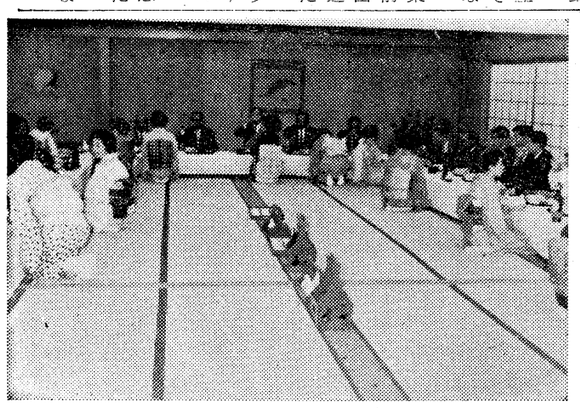
阿倍野支部（小島龍太郎支部長）では、昭和四十五年度総会を去る十月二十八日午後六時より王子神社集会場に二十次名出席の下開催した。

毎回欠かず元気な姿で出席し卒業の大先輩、加納藤石衛門、樋口哲四郎、若井伝次郎の三氏は、今回も揃って出席、当支部なっての総会模様の下で開始された。

司会は中本監事、まず小島支部長から「千五百名と推定される会員を持ちながら、現在の入会者は百七十名前後であり、更に支部発展に努力を重ねたい」と力説、その後谷口副支部長が、万博見学、役員会、二上山リクレーション等の会務を報告した。本部から坂本総務部長が出席、本部の事務機構整備をはじめとした近況の報告があり総会を閉じた。

今回会場王子神社は沢田副支部長の肝入により決ったところで、座敷とくつろぎ一献交すに相応しい落ち着いたふん囲気に、出席者もかみしもを脱いで、余技を披露し時を忘れて交歓した。出席者は次の通りである

（本部）坂本総務部長・藤本事務局員（支部）小島龍太郎支部長、谷口喜三治、沢田恒一副支部長、西森兄弟会計、中本勇監事、樋口哲四郎、若井伝次郎、加納藤石衛門、房本仙太郎、河合中、藤原光治、柳瀬宏、橋本圭三郎、元村勝美、小西義則、小山良雄、山本久米雄、神吉武一、西川重雄、藤木環博、吉岡京興、衣斐隆三、長井辰弐、清水義幸、以上敬称略


元気な三先輩も出席して開かれた阿倍野支部総会

本部事務機能整備　資金寄付者芳名

校友会本部事務機能整備のため資金寄付のお申込みをいただきました。ここに芳名を録し、深甚の謝意を表します。（敬称略）

総計金二百五十四万円也

▼十万円　樫本信雄、佐々木砂夫

▼八万円　稲野治郎衛、大島武夫

▼五万円　赤井常陵、鎌田嘉之、坂本竜夫、高橋武、羽賀一郎、畑下辰典、安富敬作

▼三万円　植垣幸雄、小崎健新、大森俊次、岡沢卓郎、佐々木芳郎、薩摩卯一、渋川鶴蔵、田中藤作、田村徳夫、千葉亮郎、東浦宋一、柳楽義祐、橋本宋次、藤田令丸、松尾高一、山本守昭、吉田一郎、吉田三七雄

▼二万円　荒川居一郎、宇津呂雄章、上原洋允倉谷精一、岸本忠雄、鑪田武、中沢俊雄、本多喜慶、丸山喜三造、宮地正一、吉木由雄

▼一万五千円　浅山敏夫、若田定男、市川重幸、泉正雄、入江一美、大江照雄、岡野彌士、北野繁太郎、小寺寛、小林正立、呉辰成、佐倉井茂蔵、篠原昭三、谷口宗平、鄭文一、三島律夫、宮内敏光、矢野文雄

▼一万円　有光史郎、岩城富子、大西昭男、岡内瀞一、金田雅一、神屋敷民蔵、川崎宗一、神戸健治、関西大学予科会、北原元茂、里見復一、神保雅明、田中一郎、谷口宗一、中村源次郎、中本勇、西口公教、八田薫、藤木五郎、藤原竜太、本多治、松本実道水本生、森田文一郎、森本靖一郎森本義弘、安井豊吾、山影耕作、山下昭久、山口辰雄

▼九千円　荒井広、井口守久、内海明、越智比古市、片野総一郎、中槙巻一、中村簡吉、西田保作、平野繁敏、村林隆一、横山宋吉

▼六千円　浅野時男、安藤虹三、井上専一郎、板谷敏雄、一木孝次、一木正光、入江貢一、岩本信正、江原光律雄、江里口春志、大川三三、鍵谷武雄、門光明、木村弥策、木村積夫郎、北野武治、小池正和、小景茂、沢山攻康、田中幸治、竹内猛、谷川正也、辻見喜行、寺浦留三郎、戸部智大、豊島孝次、永井嘉吉、長田義一、畑孝二郎、坂東勇治、福田秀直、藤本道人、船越民生、細川喜代見、前田常好、町四郎、丸木利喜造、水野富蔵、一成、和田栄太郎

▼五千円　白羽弥三

▼三千円　天野隆、井内雄一、伊勢計典、池尻員喜雄、一軸浩幸、上田稔、小野彰一、大西忠、片山元蔵、金田茂就、川岸明、川崎益男、瓦本喜市、喜多由造、木下清、木下庸一、木谷幸三、小島秀明、小林昶、神戸日産関大会、河野益夫、後藤庄夫、鮫島武次、宝田茂頼、竹内敦男、竹若隆三、谷田俊二郎、寺鴨宗孝、浜瀬善雄、平沢農一、福中保次郎、福本長五郎、宮前邦雄、山崎庄次、奈島弘一、吉田利秀、吉田八郎、以上十一月十二日まで受付分（以下次号）

寒川労働コンサルタント　衆議院議員寒川喜一事務所

所長　寒川喜一

事務所　大阪市西区阿波座上通一ノ二七（新松岡ビル三階）

新住所　大阪市西区南堀江立花通五一一〇六番（代表）

電話（地下鉄3号線本町駅「旧信濃橋」南西出入口前）

電話　大阪（〇六）五四一一五〇九五番

人それぞれ

勲三等瑞宝章を贈られた　梨岡時之助氏

□…梨岡時之助（なしおかときのすけ）氏　大正十年専門部法律学科卒業、同時に昼間勤めていた大阪商警察を退職、上京。明大で勉学をおさめ、国家試験にパス。大正十二年二月から弁護士として第一歩を踏み出したが、松永東氏の下で見習中に関東大震災に会った。氏はこれを期に大阪に帰り、昭和十五年五月まで弁護士として活躍。十七年余りの弁護士生活を経て、十月から青森地方裁判所八戸支部判事に就任、四十五才の時である。そして六十五才の停年まで五所原、弘前、蟹岡、宮古、山形、福島、若松、豊岡、葛城と住地がかわった。その後は七十才まで大阪簡易裁判所判事をつとめ、再び弁護士となって現在に至っている。

□…豊岡、葛城での文部長時代をのぞいては、民事事件が多かったそうだ。「どれもこれも自分の信ずるままに裁判をしてきて特別に印象に残った事件はなかった」そうだが「大事なことは聞くことです被告が『もっこれであってもいい』と満足するまで十分聞くことです」と力説する。中でも葛城支部長時代に扱った殺人事件で犯人は死刑の判決を受けたが、その判決文に被告が母親には孝行だった、私はそのことを書いていない。同じ死刑でも長所を見てやらなかったことが今も気になっています」と残念そうだ。現在までは弁護士生活と判事生活は半々位だが、「私は判事の方がいい、弁護士は正義の保護以外に利益の保護を考慮しなければ、食べていけないから」と笑いながら言われた。

□…「お暇な時は…」「趣味は…」何でも〝読書〟と答えられるくらいよく本を読む。特に宗教書が多いそうだ。氏の会話の中にはマルクスやトルストイの言葉や経文の言葉がはいる。「〈自修其意〉べてが自分で決めることです今度の叙勲も私がもらうと決めたからもらったのです。苦楽、善悪などすべての基準は自分の中にある。〈実行は理論よりも尊い〉とも言われるように心と体験はいっしょにならなければいけませんがあの運動している学生も真相を悟らないから悟らうと行動しているのであって、あれも経験です」と寛大なようだが「しかし何かをつかんだら、もう一度考えて必ず次の行動に移す、これを因縁と言うんですが」とあいまいな繰り返しを許さない厳しさがうかがえる。七十五才、吹田市在住家族は奥様と二人暮らし、一人息子は姫路で同じく判事をしている。

友粋会総会開く

昭和十三年専門部商科卒業生の同窓会〝友粋会〟では、ことしは〝阿波踊り〟に参加することに決めていたが、台風が襲来するとの情報のため中止となったので、十月十七日午後六時半から谷町九丁目「大和会館」で総会を開いた。

城下幹事が、台風がそれて晴天となったのに中止したいきさつを報告し、現地で準備して待って下さった好意に対し深謝するとともに、来年はぜひ実施することに決った。

当日出席した会員は、森田会長のほか、安藤博重（安藤KK社長）岸上輝生（税理士）小島正市（永田製作所）島田厳治郎（NHK共済会）島津徳三（税理士）城下正行、杉本一太郎（公認会計士）高倉仁郎（日本システムマシン専務）田中良澄（興研鋼機KK）並川治郎（日本毛麻輸出組合）橋谷末吉（商船港運を停年退職し安藤KK）牧村正夫（公認会計士）和田秀一（宝造経理専門学校長）の諸君で、近況を披露した。

校友会からは坂本総務部長、神屋敷事務局長らが出席したが、和泉支部総会を終えた樫本校友会長も出席されて、母校や校友会のことについて報告、こんどの募金についても協力を要請した。

四氏が褒章を受章

▽藍綬褒章（四五・十・一）

都野守良雄

▽藍綬褒章（四五・十・十二）

鎌田　嘉之

多年弁理士業務に従事して工業所有権の権利擁護に尽めた。昭七大法・常議員・弁理士

▽藍綬褒章（四五・十・十二）

菊久池　博

中小企業に対する金融の業務に携り、つねに貯蓄の増強と金融の円滑化に努め、産業の振興に寄与した。昭八専二法・法人監事・校友会参与・近畿相互銀行社長

多年調停委員として幾多事件の処理にあたり、適正妥当な解決に努め、よくその職責を尽した。大十三専法・代議員・弁理士

▽藍綬褒章（四五・十・十四）

長田　義一

多年市議会議員として公共の福祉に奉仕し、よく地方自治の発展に貢献した。推・代議員・大阪市会議員

▽黄綬褒章（四五・十・十二）

明年は二十周年記念行事を
鳥取支部総会

鳥取支部では十一月七日午後四時から鳥取駅前日ノ丸自動車㈱会議室において四十五年度定時総会を開催した。

安部幹事長の司会により開会の辞が述べられ、続いて奥沢支部長より最近の大学に関する報告と当支部発足以来十九年の歩みについて、および明年は支部創立二十周年を迎えるので記念行事をどのように行なうか協議したい旨が述べられた。次に古寺幹事より会計報告、田中幹事より祝電の朗読披露があったのち協議に移り、二十周年記念行事については一切役員一任と決定した。最後に学歌〝自然の秀麗〟を声高らかに歌い、橋本副会長の閉会あいさつと万才三唱で幕を閉じた。

当日の出席者は次のとおり。

実沢澄支部長、橋本喜一郎副支部長、安部誠吉幹事長、田中薫、君村嗣之、古寺善三、平野昌男幹事田中清道、山崎一郎、松井鶴幸、岩村昭、村上正紀、辻本憲史、加藤博司、豊野通弘、田部紘一郎、加藤信介、木下剛毅、小川慎治。

郵政関係異動

▽井上隆二郎　大阪郵政局局長官房秘書課長補佐兼秘書係長▽山本健吉　同人事部要員課第二給与係長▽北野繁太郎　同資材部管理課長補佐▽田中貞夫　同配給課第二配給係長▽和田啓一　同建築部管理課長補佐▽鶴丸森夫同貯金部管理課訓練係長▽尾形貞延　同保険部管理課長▽佐藤稔同奨励課指導周知係長▽沖旭大阪郵政監察局第三部長▽森田安一　東住吉郵便局長▽倉谷福大阪北逓信病院管理課長▽上田二郎　西淀川郵便局庶務会計課長▽宮川治　住吉郵便局集配課副課長▽荒木稔　豊中郵便局庶務会計課長▽川住康男　河内郵便局郵便課長▽大路豊之　京都中央郵便局調整課長▽浜口節夫　神戸中央郵便局発送課副課長▽中谷登　櫂原郵便局郵便課長▽渡辺和夫　王寺郵便局庶務会計課長▽校田基生　大阪鉄道郵便局計画課長

瓜生清殿（昭一七専二商）は十一月九日、肝硬変のため逝去。民社党全国区選出、参院議員。

倉田熊平殿（大一〇専商）は十一月九日逝去。

小山平次殿（大九専法）は十一月四日逝去。元村野高校校長。

藤本豊嗣殿（昭三三学一法・昭三五院修法・昭三八院博法・法学部助教授）は十月十五日逝去。

松本茂殿（工学部技術員松本信一殿父）は十月十九日逝去。

大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島一公
弁理士　辻本一義
大阪市西区江戸堀北通二丁目二十五番地（とみたビル）
電話（四四一）一一〇〇・一三九四（四四三）六一五〇

不動産の売買・賃貸仲介管理
京阪神不動産株式会社
取締役社長　谷田俊二郎
本社　大阪市東区瓦町5丁目御堂筋瓦町ビル
電話（20）7331代表

化学工業薬品　合成樹脂関係
建築材料　硝子繊維
D・O・H式塩素ガス除外装置
ピンクスFRP—スプレーアップ機
新日化産業株式会社
取締役社長　木村富士
本社　大阪市東区北浜1丁目35番地
電話　大阪（06）203—0671代表
支店　東京・名古屋・北九州・高松
営業所　広島・札幌・東北
出張所　小豆島

先輩が後輩にすすめたくなる会社とは？
現在、大阪日産には関大出身者100名
お客様、本意に
●信用第一主義の販売体制。
●快適なカーライフをささえる府下796ケ所のサービス網。
●お客様のための万全管理、コンピューターで行き届いたサービスをお届けします。
●お車のことならなんなりとお申しつけ下さい。
Bluebird Coupe
トップを行く総合ディーラー
大阪日産
本社　大阪市福島区下福島1—4　TEL(441)7951

内燃機関
工作機械
産業機械
鋳物専門製作
強靭鋳鉄協会々員
東大阪市高井田9の2
株式会社　英光社鋳工所
取締役社長　佐々木重之助
TEL　大阪（788）6671—5

校友の皆さんへ

最近、町名変更などのため郵便物の一括返送が多くなっています。校友会事務に支障をきたすばかりでなく、以後連絡不能となることもありますので、町名変更などの場合、校友会まで連絡をお願い致します。また移転・異動などもお早く連絡下さい。

吹田市山手町三—三—三五
関西大学会館内
関西大学校友会

4シーズン連続優勝の快挙 28回目

関西六大学野球秋季リーグ

栄冠へ総力結集

優勝決定戦で関学逆転

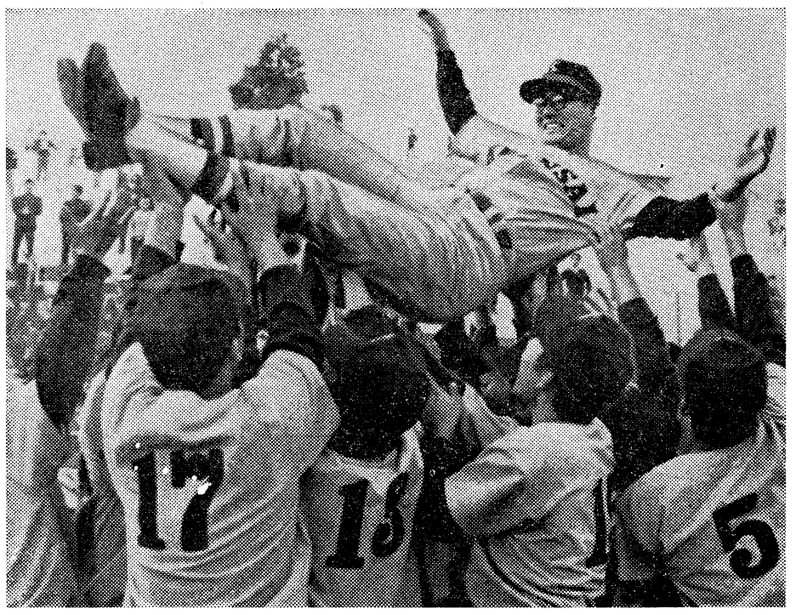
関西六大学野球秋季リーグの関大―関学優勝決定戦は、十一月四日、藤井寺球場で行なわれ、関大が地力を発揮して関学に逆転勝ち。四シーズン連続、二十八回目の優勝を飾った。

十五年ぶりに張り合った関大―関学の優勝決定戦。関学九回の攻撃も最後の打者が三ゴロ、三塁手杉政から一塁の太田に球が渡って試合終了。関大のスクールカラーの柴色のテープが舞い、マウンド上の本山におどりしながら駆けよるナイン。関大が四シーズン連続優勝を決定した瞬間である。

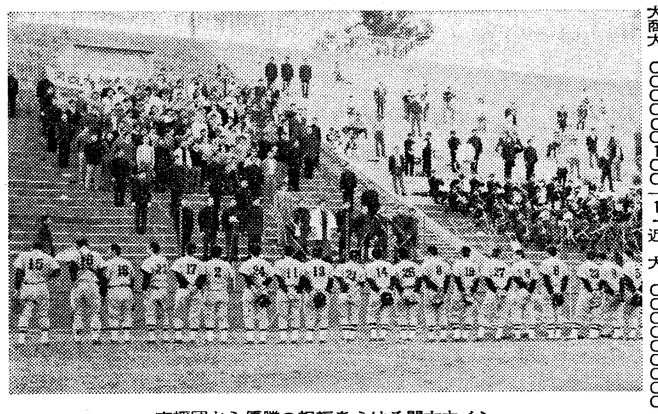
四十二年春に監督になってから八シーズンのうち、五たび選手の手でからだが宙に浮いた達摩監督は「これほど苦しんだのはこれまでにない。ここまで追い込まれたのは、三シーズン連勝したことでいつでも勝てるという甘い気持があった。山口高の陰にかくれていた本山が最後によく投げてくれた」と目をうるます。

前半大黒柱の山口高が活躍し確実に勝点を上げてきたが、終盤肩の故障で欠場。代って同大戦から4連投した本山は「大事な一戦で山口高のアナ埋めができ、こんなうれしいことはない」と後輩への思いやりを示す。

木島主将は関大野球部のよさにチームワークを上げ「一つのボールにみんなが真剣に取り組む、これがチームワークを育てている」と言う。部員三十七人。リーグでは関学に次ぐ小世帯だが、その練習風景は、主将を中心にまとまりよく行なわれ、見ていて気持ちがよい。後半の白ンチを切り抜けた粘り腰もこんなところから生まれてきたのだろう。



喜びのナインに胴上げされる達摩監督



応援団から優勝の祝福をうける関大ナイン

【大商大戦】

▽一回戦（関大1勝）

関大	1	0	1	1	2	0	0	0	0	5
大商大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

山口円の三塁打、白滝の本塁打などで前半5点をとげ勝負を決めた。

▽二回戦（1勝1敗）

関大	1	0	0	0	4	0	1	0	0	6
大商大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

好機を生かすことができず完敗

▽三回戦（2勝1敗）

関大	3	0	0	0	0	0	2	0	0	5
大商大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

初回杉政の2点本塁打などでスキのない攻撃をみせ、山口高が要所を締めて勝点をとげた。

【竜大戦】

▽一回戦（1勝）

竜大	0	3	5	1	0	0	0	0	0	9
関大	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

白滝、大島の本塁打など関大打線が爆発、大量点をとげ完勝。

▽二回戦（2勝）

竜大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
関大	0	0	0	0	0	0	3	X		3

先手を取られた八回裏、木山が左に同本塁打、さらに木島大が3塁打して逆点。

【近大戦】

▽一回戦（1勝）

近大	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3
関大	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

山口高の力投で勝った。打線も山口円の本塁打などで山口の力投を支えた。

▽二回戦（1勝1敗）

近大	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
関大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2時間3分という短かい試合で近大に完封負け。

▽三回戦（2勝1敗）

近大	1	0	3	0	1	2	2	0	0	9
関大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

立上がりから積極的な試合運びで近大を圧倒、五回までに大量5点を奪い、以後も近大の動きの悪攻撃をみせた。関大らしい守りをついて得点。関大らしい攻撃をみせた。また山口高が速球を決め、近大打撃を2安打、1四球にきりとった。

【関学戦】

▽一回戦（1勝）

関学大	0	0	0	3	0	2	0	0	1	6
関大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

伝統の関関戦で先手必勝をねらう関大は、四回白滝の3点本塁打で先手を奪って有利に試合を展開エース山口高の13三振を誇る力投で完封勝ちした。

▽二回戦（1勝1敗）

関学大	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
関大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

関大打線は関学上屋のコーナーをついた投球にポイントをつかめず2安打に完封された。

▽三回戦（2勝1敗）

関学大	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
関大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

関大はエース山口高が肩の故障で欠場、連投の本山が頑張ったが頼みの打線が不振で、痛い星を落した。

▽三回線（1勝2敗）

関大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
同大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

試合は関大の一方的な展開だったが、九回までの9残塁を記録するなど得点を上げられず、延長十一回、二死三塁に田中が安打してサヨナラ勝ちした。関大は優勝まであと1勝。

▽二回戦（1勝1敗）

同大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関大	0	0	0	0	0	2	0	0	X	2

関大打線の不振で初回の1点が返せず連敗した。関大は全日程を終了勝点4、9勝5敗。

【優勝決定戦】

関学大	0	0	0	0	0	2	1	0	3	6
関大	0	0	0	0	4	2	3	X		9

関、関で争われる三度目の優勝決定戦。四季連続優勝をねらう関大の執念は、六回関学に先手を奪われるとにわかに燃えあがり、ねばりのある攻撃で4点を取り逆点。七回には山口円が2点本塁打し、八回は上位打線の活躍で3点を加え、本山が力投して結局9―6で関学を下し、四季連続、二十八回目の優勝を飾った。

学生新で団体優勝

全日本学生ライフル射撃選手権

全日本学生ライフル射撃選手権大会は十月三十日から四日間、能勢森上射撃場に全国から三十数校が参加して行なわれ、一昨年八位昨年三位と実力を上げてきている関大は、スモールボア団体で学生新を出し、優勝校に与えられる久縄銃を手にするとともに、総合でも団体優勝を飾った。

競技はスモールボア、エアーライフルとも五名の選手が参加して行なわれるが、スモールボアでは三人が自己新記録を出し計二六四一点の学生新、エアーライフルは二六七二点で五位となり、総合五三一三点の学生新で優勝した。

これで関大は、春季全関四、秋季全関四、全日本の三つのタイトルを独占した。

96チームが参加

ソフトボール・反応工学優勝

体育会主催の第三グラウンド完成記念ソフトボール大会は、十月二十八日の開会式から参加九十六チームの間で熱戦をくりひろげていたが、十一月十六日、表彰式が行なわれ、上位三チームにそれぞれ、学長杯、教育後援会長杯、校友会長杯が贈られる。

このソフトボール大会は体育会が、より多くの学生にスポーツに親しんでもらうとともに、教職員と学生の親睦をはかることを目的としてはじめたもので、これから毎年続けていく予定。今回は九十六チームが参加したが、申し込みが多く途中で締切った。

関会式は第一グラウンドで、学長、学生部長が出席して行なわれ、学歌、学長、学生部長あいさつ、本部長あいさつの後、落語大学国士無双チーム代表が選手宣誓。試合は二十九日から三ブロックに分れてトーナメント方式で行なわ

総合学術調査の成果

蜂の巣遺跡発掘特別調査団

第四次関西大学考古学調査団（団長・松原ダム総合学術調査室）によって、松原ダム水没地域内で発見された縄文遺跡（蜂の巣遺跡）を調査する特別調査団は、十月一日から十五日まで熊本県阿蘇郡小国町浅瀬と大分県日田郡大山町貫見の二地点で発掘調査を行ない大きな成果をあげた。

同調査は、松原ダム堤水が真近のため大学の前期試験と休暇期間を利用して、末永雅雄名誉教授を顧問に、団長・桜田誉法学部教授、発掘担当・網干善教文学部助教授をはじめ総勢二十六名が参加し、地元の人々の協力のもとに行なわれた。

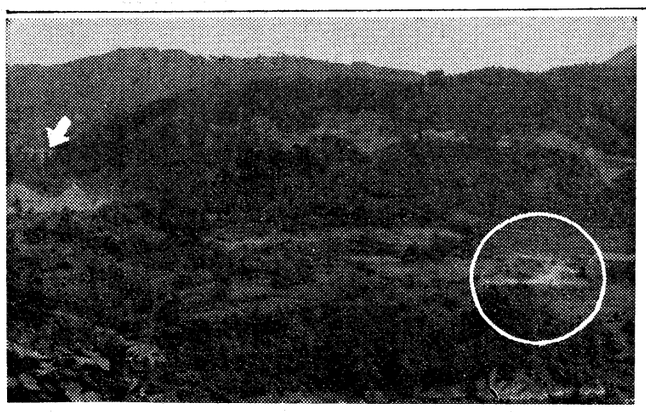
発掘は水没地域の二地区を重点的に行ない、小国町浅瀬では七地点を発掘し、縄文時代後期の終りから晩期初頭（約三千年前）の縄文土器をはじめ石鏃、石錐、石斧などの石器、また炉跡と推定される遺構五カ所がみつかった。

大山町貫見では十三地点を発掘し、縄文時代早期（七・八千年前）から晩期初頭（三千前）までの長い期間の縄文土器などを発掘した。

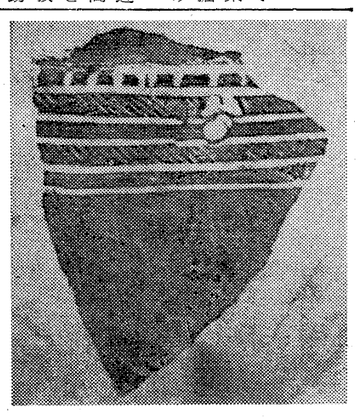
また工学部門の地質学担当者による岩石の分布調査によって、津江川の左右面岸に黒耀石の原産地があることが判明し、考古学調査によって得た石器、石材との関連が明確になるなど、総合学術調査としての成果をあげた。

さらに発掘には地元の教育委員など町の役職者が参加協力し、見学会、講演会などを行ない七百名余の人が参加するなど遺跡に対して地元の人が強い関心を示し、地域との交流についても大きな成果をあげた。

なお調査団は来年は、第五次総合学術調査団を現地に派遣し、従来の調査研究を続行すると共に、考古学部門においてもさらに築後川上流地域の広い範囲にわたって調査を行なう予定。



円内が発掘現場（矢印はダム）



発掘された土器の紋様

ダヤク族の民族誌作成

カリマンタン第二次調査計画

探検部は、十二月初旬から半年の予定で、第二次カリマンタン内陸部探検調査隊を派遣する計画で最後の準備を進めている。カリマンタンはインドネシア群島の中央に位置する世界第三の島ボルネオの大半を占める地域で、ここは赤道直下の熱帯雨林気候帯であり、大陸的規模の島であるため密林の奥地は文明の侵入を拒み続けて未だ知られざる分野が多いところ。

今回の調査は、カリマンタンの内陸部に住むダヤク族の「民族誌」の作成を目的とし、社会組織（家族構成、婚姻制度等）、経済生活（農業、貨幣、祭等）、宗教、芸術、言語など多項目にわたって行ない、あわせて野生動物の生態観察も行なう。

また今回の調査には第一次偵察隊が知りあったインドネシアのランプン・マンクラット大学の学生数名の参加が予定されている。隊員は次のとおり。

西田信隆（経至）隊員リーダー
松宮　満（社四）記録
三宅　得司（社四）装備・写真
徳田　隆一（法四）渉外
八木恵美子（法二）会計・医療
中村　孝（社二）食糧
益子　五月（東女医大卒）医師

なお西田、松宮、徳田の三君は第一次カリマンタン偵察隊員。

公害とりあげ模擬裁判

千里山法律学会

一部学術研究会千里山法律学会は十一月七日午後一時から大阪東区の日経ホールで「大阪水俣病損害賠償事件」の公開模擬裁判を開いた。

この公開模擬裁判はことしで十回目を迎え、これまでは刑事事件を扱ってきたが、今回は公害を法律の面から考えようと、新潟、富山、熊本などへも調査に出かけて準備した。

「関西六学地方裁判所」で裁判された「大阪水俣病事件」の概要は―昭和三十年代、熊本市の海岸地域で化学工場が流した廃液に含まれた有機水銀で中毒にかかった患者たちが、会社を相手どって二家族八人で一億円余りの慰謝料を請求。これに対して会社側は中毒の原因は農薬によるものであり、また工場には有機水銀除去装置を設置したのだから、会社には過失はないと反論。現実の公害裁判の争点がとりいれてある。この公害裁判のねらいは「公害と法律のギャップを明らかにし、被害者救済を現行法体系のなかでどこまでやれるかを追及したい」と言うもので、ここでは企業の過失責任を指摘した。約百人の真剣な傍聴者でうまった法廷は裏に迫った裁判で重苦しい空気につつまれていた。

永井君が優勝

全日本学生洋弓選手権

第九回全日本学生アーチェリー個人選手権大会は、九月十六日、十七日の二日間、大阪の長居陸上競技場で行なわれ、関大の永井八太郎君（社二）が優勝した。また団体でも三位に入賞した。

同君は洋弓歴一年余り、大学に入ってから始めたばかりの新人。一日目の九十点、七十点の終った時点で十位位だったが、二日目の五十点で三位に上り、最後の三十点で三十点近くの点差を逆転して優勝した。

就職戦線終盤へ

一部八五・八%が決定

昭和四十五年度の就職も終盤になり、就職率も例年並みの落ち着くところに落ち着いてきた。就職課から発表された十月末日現在の就職率は、一部八五・八%、二部六六・四%となっている。

学部別にみると、一部では、法＝八六・三、文＝六八・四、経済＝八五・六、商＝八七・一、社会＝八三・〇、工＝九二・二（%）

同二部は、法＝六六・〇、文＝四〇・〇、経済＝七四・三、商＝七〇・〇、社会＝五八・三（%）

書斎の窓 ―⑩―

松原藤由

私の書斎は嵯峨天龍寺のほとりの離れ屋にある。南面している書斎から庭の楠の大木を通して嵐山が一望のうちにみえる。天龍寺山内、蒐済院住職であり国泰寺派管長・稲葉心田老師が下さった短柵に「天地一草の処」と墨書してある。もう一つの書斎は関西大学の経済研究室二階の二〇五号室である。東南に面している窓からは松や銀杏並木を通して吹田の街が眺められる。この部屋では大学院の修士および博士過程の院生諸君を指導しているので、時には、小さい教室ともいえるが、とにかく木造とコンクリートの二つの書斎を、私はもっているということになる。それだから近頃、流行の諸についたセカンド・ハウスとか別荘などは私にとっては無用の長物である。

このうえは、竹風に世上の塵を払い去ってひたすら研究。だがインフレの波に乗る物価高、わけても書籍高はこの研究をもかなり困難なものにしている。そこで名われるままに今日は、木造の書斎の窓から紅葉する嵐山どころでなく、日本経済の明暗を展望してみる。副題として高度産業化社会への移行に寄せて、これが拙論の課題である。

近く発行される『経済論集』第五巻に私は『高度産業化社会への政策的課題』という小論を発表した。その冒頭に、「昭和三十年代より昭和四十年代のはじめにかけての、わが国の経済政策（本質的には技術革新と経済発展を特殊具体的目的とする総需要増大政策としての高度成長政策）およびその中枢的部門である産業政策、わけても工業政策（産業構造高度化政策としての重化学工業化政策）と現実の経済や産業の動向をあわせ概観してみると、それらの諸政策と経済主体としての企業行動および消費行動によって、経済の高度成長は実現したが、一方において、高度成長の「ひずみ」ないし矛盾を顕在化し、他方において、産業の前進的再編成を推進し、経済社会や産業経営社会は著しく変貌するとともに、最近の経済環境の変化（経済の国際化、発展途上国の追上げ、特恵関税の供与、労働力の不足、国際通貨不安、等）に対応して現実の産業社会は「高度産業化社会」へと移行せんとしている。

いつまでもなく高度産業化社会とは「第三次産業社会」、「情報化社会」、「寡占経済社会」、「知識産業社会」、「新しい産業国家」、「科学的社会」、「脱工業化社会」とも呼ばれているが、この社会の一般的な構造ないし性格については拙論にゆずるとして、ここでは明らかに高度産業化社会への移行は、戦後の技術革新の流れ（技術的進歩、発明の実用化過程）、わけてもオートメーション化、自動機械化と呼ばれる「生産方法の進歩」、コンピュータ化、情報化、システム化と呼ばれる「事務方法、経営方法の変革」が高度大衆消費社会における大規模市場を前提超技術化（伝統的な旧技術と異なる新しい技術体系へ）、情報化（特定化された明確な活用目的をもって情報を入手し使用することへ）、システム化（共通の目的達成のために異なる諸目的を取り扱うものへ）、環境の変化に対応して高度加工産業化と総合的企業力（競争力、市場開拓力、経営管理能力の総合的な企業間競争）の激化が国内的にも国際的にも必然化したことから招来されたものである。従ってこれを端的にいえば、一九七〇年代の、わが国が国際化時代に突入して志向する新しい次元の産業社会が高度産業化社会である」といえよう」と述べている。

周知の如く現実の産業社会では、鉄鋼、機械、化学、繊維、食品などの諸工業および商業、金融業、サービス業等、今日注目されている産業の範疇には既にはいらない新しい産業、例えば情報産業、流通産業、住宅産業、都市開発産業、総合輸送産業、エネルギー産業、公害防止産業、国土開発産業、海洋産業など複合機能産業が台頭する傾向が顕著であり、それとともに超技術化（伝統的な旧技術と異なる新しい技術体系へ）、情報化（特定化された明確な活用目的をもって情報を入手し使用することへ）、システム化（共通の目的達成のために異なる諸目的を取り扱うものへ）、環境の変化に対応して高度加工産業化と総合的企業力（競争力、市場開拓力、経営管理能力の総合的な企業間競争）の激化が国内的にも国際的にも必然化したことから招来されたものである。従ってこれを端的にいえば、一九七〇年代の、わが国が国際化時代に突入して志向する新しい次元の産業社会が高度産業化社会である」といえよう」と述べている。

また最近のわが国の産業政策や経済政策も高度産業化社会への移行を意図しているかの如くである。それは昭和四十五年五月に閣議決定をみた「新経済社会発展計画」の中の「産業構造の革新」の内容をみれば明白である。しかし私は高度産業化社会への移行ということを、わが国の「全体的」な社会について言うのではなく、このような高度産業化社会は換言すれば、知識産業人時代であろう。

ところで最近のわが国では、私の理解する高度産業化社会を巡るイデオロジカル・クライシス（家財政（地方財政をも含めて）の赤字化の拡大、(4)貿易活動のアンバランス、多様化する社会の多元的インダストリアリズムや資本主義と社会主義の原則論的、イデオロギー的対立と社会意識の混迷など、その三は、エコノミカル・クライシスであり、過剰生産の進展、企業の借金経営、インフレーションの悪性化など、の勃発の可能性である。これらの三つのクライシス、すなわち恐慌勃発の可能性は、帰するところ、自然科学の進歩に対する社会科学の進歩の遅れという事実、自然科学と社会科学との間のギャップにより現実化するものである。このギャップを解消するのは自然科学と社会科学の統合と科学と哲学の統合以外には方途はないであろう。けれどもその実現は容易なことではない。

その三に指摘したエコノミカル・クライシスは、既に可能性の現実化として、日本経済の暗い側面に露出し始めている。そこで、高度産業化社会への移行に寄せて、日本経済の明暗を推察してみよう。先ず明るい面としては(1)家庭生活の改善と向上、(2)国民所得の増大と平準化、(3)産業の国際的競争力の強化、(4)国際収支の改善、(5)高度経済成長の持続、等が推察される。これに反して暗い面としては、(1)企業体質の不健全化、(2)産業公害の加速度的増大、(3)国際的にもまた国内的にも国際的にも必然化したことから招来されたものである。

日本経済の明暗

高度産業化社会への移行に寄せて

「バラ色」の政策画として描く傾向があるようである。それ自体を悪いというのではないが、注意すべきことは、高度産業化社会への過程に待ち構える「三つの危機」の自覚についてである。

その一つは、アメリカのハドソン研究所（シンク・タンク）所長のハーマン・カーン（Herman Kahn）のよく使用するテクノロジカル・クライシスであり、核戦争の危険、深刻化する産業公害、天然資源の枯渇など、その二は私の見解である。

もとよりこれからの産業構造の高度化は第一次産業から第二次産業へ、さらに第三次産業へというような単純な変化ではない。各部門の産業の内部構造の変動と高度化をそれぞれ内部にもちながら相互に関連し合ってシステム的に変動するというような重層的変動のパターンをとりながら変貌する。このような高度産業化社会は換言すれば、知識産業人時代であろう。

ところで最近のわが国では、私の理解する高度産業化社会を巡るイデオロジカル・クライシスであり、物質的生活と精神的生活のアンバランス、多様化する社会の多元的インダストリアリズムや資本主義と社会主義の原則論的、イデオロギー的対立と社会意識の混迷など、その三は、エコノミカル・クライシスであり、過剰生産の進展、企業の借金経営、インフレーションの悪性化など、の勃発の可能性である。これらの三つのクライシス、すなわち恐慌勃発の可能性は、帰するところ、自然科学の進歩に対する社会科学の進歩の遅れという事実、自然科学と社会科学との間のギャップにより現実化するものである。このギャップを解消するのは自然科学と社会科学の統合と科学と哲学の統合以外には方途はないであろう。けれどもその実現は容易なことではない。

その三に指摘したエコノミカル・クライシスは、既に可能性の現実化として、日本経済の暗い側面に露出し始めている。そこで、高度産業化社会への移行に寄せて、日本経済の明暗を推察してみよう。先ず明るい面としては(1)家庭生活の改善と向上、(2)国民所得の増大と平準化、(3)産業の国際的競争力の強化、(4)国際収支の改善、(5)高度経済成長の持続、等が推察される。これに反して暗い面としては、(1)企業体質の不健全化、(2)産業公害の加速度的増大、(3)国

（経済学部教授・経博）

ショッピング・ゾーン
―梅田一番地

大阪・梅田
阪神
電(06)345-1201(代)

特許・商標・出願全般・審判事件
〔日・英・米・独・仏・伊・スイス・ベルギー〕
〔中近東・東南アジア諸国・韓国等取扱〕
鈴木国際特許事務所
所長・弁理士　鈴木武夫（昭和五年　大法卒）
大阪市西区西長堀南通一丁目九番地（四ツ橋交叉点南50m東側）
電話　大阪（地下鉄四ツ橋線四ツ橋駅中央出入口隣）〇六（441三一）七四三一～七四三四　七四三五（所長宅）

利息が元金を上回る――
この有利さのヒミツはなにか
ふやすとあなた
利息もそのまま預けっぱなしでふやすから、しかも利息に利息がつく複利運用だからこんなに有利なのです。
＜ふやす信託＞なら、10万円も10年後には何と20万6,800円。
あなたの計画的な貯蓄プランにうってつけです。
ふやす信託とは――
高利回りの〈住友の貸付信託〉の半年ごとの利息を据置いて自動的に複利利殖する方法です。
ふやす　住友の貸付信託
●1口1万円●元金保証で安全・高利回り
5年もの　年7分4厘7毛
2年もの　年6分4厘5毛（税引後）
●全国どこの郵便局からもお預けになれます
（送金料無料の当行専用振替用紙をご請求ください）
本店営業部
大阪市東区北浜5丁目（新住友ビル）電話06(203)1321(大代表)　郵便番号541
ふやすでおなじみの住友信託銀行

●性能と品質で世界にチャレンジする
トネの工具
躍進をつづけるモータリゼーションの繁栄に、トネは常に安全を心がけています。
■製造品目
●インパクトレンチ
●スパナ
●メガネレンチ
●ソケットレンチ
●パワー（4倍）レンチ
●ホイルナットレンチ
●ボックスレンチ
●コンビネーションプライヤー
●モンキーレンチ
●スパイラルリーマ
●バルブシートカッター
TONE トネの工具
前田金属工業株式会社
取締役社長　前田軍治
本社・工場　〒537　大阪市東成区深江北3丁目14番3号
電話　大阪（976）5561（大代表）
東京・札幌・名古屋・福岡

冷暖房換気設備工事
給排水衛生設備工事　設計並びに施工
株式会社　大阪城口研究所
取締役社長　城口庸平
本社　大阪市北区高垣町一番地　電話　大阪三七二局七一五一番（代表）
京都出張所　京都市東山区大和大路正面上ル　電話　京都五六一局四九四四番（代表）
神戸出張所　神戸市生田区下山手通六丁目一番地　電話　神戸三四局五八九二番

ダイヤモンドホーローバス製造元
各種大型プレス・製缶事業
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
取締役社長　赤井常隆
本社　大阪市西区北堀江上通一丁目十番地　電話大阪（五三八）代表三六二一～五番
工場　静岡・西宮・神戸
◎大阪興業株式会社
◎新東生コンクリート工業株式会社

会と催

▽関大法曹会秋の総会　十一月二十一日午後一時関大会館前集合

▽京都支部総会　十一月二十一日午後六時から京都互助センターで開催

▽日立造船関大会　十一月二十七日午後六時半から御堂筋豊田ビル内香港飯店で開催

▽事業部飛鳥の里見学会　十一月二十九日午前九時大阪駅西口集合

▽大阪東支部総会　十二月一日午後六時から東天紅で開催

▽無輪会総会　十二月十二日午後四時から十三・三笠で開催。

青い目の非行少年見てある記

少年期のしつけ
小さなときに厳しく

大阪少年補導協会　竹本靖秀

ロスアンゼルスからニューヨークまで大陸横断はバスを利用した。料金は八〇ドル。ジグザグのコースで途中下車を何度しても料金には変わりない。二階つき、トイレつきの〝グレイ・ハウンド〟の長距離バスはとても快適だった。

時速一二〇キのスピードで一直線の道路が二時間も三時間もつづく。大陸の広大さが否応なしにみせつけられる。車窓から都会や田舎、あらゆる姿のアメリカが見られ、また乗客も州を変わる毎に入れ替り、すぐに友達になった。西部から南部へそして中部へとバス旅行をつづけた。

コロラド州デンバーではバスの中で知り合った日系人の紹介で中塚さんという日本人の家庭に招かれた。この中塚さんは六十歳を過ぎた老人で、息子がシカゴのある会社で重役をしているため、現在は隠居の身である。その主人が中心となって開いてくれた夕食会には、デンバー在住の日系人が多数集まった。食後、二世、三世の若い娘さん四人がドライブに誘ってくれた。顔を見ればまったくの日本人であるが、喋る言葉やゼスチュアは純アメリカ的。一緒にいても妙な感じがする。彼女らは大学生と高校生で話も自然学校生活のことが中心になった。

アメリカ人の家庭は友人や親類などの家族同志でよくパーティを開く。パーティは大体夜八時頃から開かれるのであるが、そんな時小学生以下の子供達は留守番役である。子どもに対するしつけはかなり厳しく、夜間外出はほとんど許さない。親達は子供に留守番させるのが不安な場合、学生アルバイトを求む。彼ら学生にとっても一番人気のあるアルバイトである。普通八時頃から二、三時間留守番をするかたわら子供達の話相手になり、親が帰宅するまでにちゃんと寝かせておく。一時間一ドル五〇セントというのが相場のようだ。

ちなみに、大学生のアルバイトについて調べてみると、普通の自動車洗い、芝生刈りなどが一時間二ドル五〇セントである。また技術を必要とする専門職のアルバイト料などはぐんと高くなる。そして日本と違うところは、日曜日にアルバイトすると、平日の一・五倍の給料が貰える。

男女の正しいマナーを

また中流家庭の子供はほとんどボーイスカウトやガールスカウトに加入し、夏休みはキャンプ旅行に出かける。ボーイスカウトやガールスカウトに入らない小さな子供達は地域のお母さん達が組織してつくっている〝ブラウニーズ〟に参加する。これは日本でいう子供会のようなもので、昼間時間に余裕をもつ母親達が近所の子供を集め、絵を書かせたり、工作をさせたりしている。こんな子供達の中には不在家庭児童もたくさん含まれている。とくに感心したのは単に図画や工作ばかりさせるのではなく、世界各国からアメリカに留学している学生を連れてきて、その国々の歴史や生活の模様を子供達に聞かせていることだった。

中学生の社交ダンスも流行していた。日本式に考えると想像も及ばないが、当の中学生達はすましして踊っている。ワルツやタンゴなど大人顔まけの立派なターンをしている。これは子供達がセックスに対して変な興味を抱く前から、男女間の正しいマナーを身につけさせようとするもので、ホールの隅には両親がちゃんと付添っていた。このような大人達の思いやりがニューヨークの玉突き場でも見受けられた。

私は二週間かかって途中下車しながらのバス旅行を終え、ニューヨークのYMCAに落ちついた。二日間、疲れを癒すために外出もせず、じっと部屋にとじこもって寝てばかりいた。三日目の昼、元気の出たところで七番街の裏通りを歩いてみた。そして玉突き場に入った。

タバコの煙でむせかえるような場内にはヒッピー族のような若者もいっぱいいた、お世辞にもよい雰囲気とは言えなかった。私が入ると、五、六人の少年が振り返り、変想よくウインクした。しばらくするとテップリふとった二人の女性と二人の男性がつづいて入ってきた。三人とも年輩である。そして一見して十代と見える少年達のグループに近づき、何やら喋りはじめた。何気なく傍に寄りり会話を聞いてみると、玉突きはYMCAでやりなさい、というようなことを幾さかんに言っていた。

私の泊っていたYMCAにも二階に玉突き台が四台置いてあった。「玉つきしたらあかん……」と何べんしたらあかん……。

体を頭から悪いと決めつけるのではなく、YMCAのような健全な場所に、青少年の興味をひく施設をつくり、悪い環境から遠ざけようとしているのである。この三人の大人はボランティアの青少年指導員であった。

最後に、アメリカの家庭教育について少しふれてみると、まず第一に目につくのは子どものしつけである。

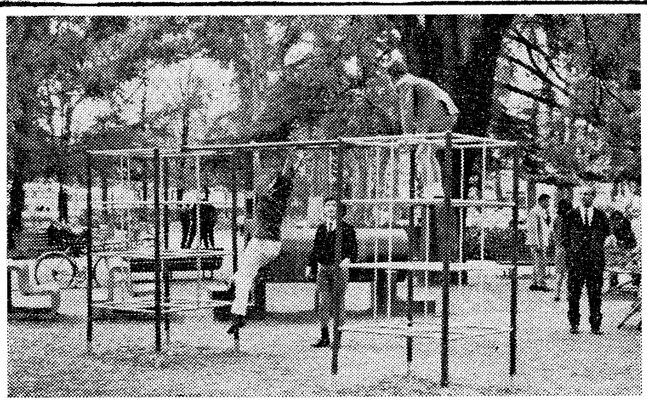
このしつけについては、日本とはまったく逆で、小さい子どもに対しては非常にきびしい。たとえば、テレビなど夜遅くまで見せないし、電車の中で、子どもが座って親が立っているという光景など、ほとんど見当たらない。

それから罰はかならずあり、他人に迷惑をかけるようないたずらをしたり、約束を守らなかったりすると、親からきつく叱られる。どんな罰かといえば、一週間おやつを与えないとか、テレビを見せないとか、いわゆる自由の権利剥奪である。

このように十八歳くらいまではきびしく罰を与えるが、十八歳を過ぎると、親は全然口だしをしない。子ども自体もハイ・スクールを卒業すると親のもとから離れようとするし、事実、両親と住むのはおかしいという考え方をもっている。

ニューヨークのYMCAの食堂で会ったアメリカ人の教師で、日本にも数年間滞在したことのあるスミス氏が「日本の母親は、子どもを甘やかしすぎる。子どもに対して献身的すぎますね。私も日本へ行った時、ある女子大学の学生数人とピクニックに行ったのですが、その学生たちが弁当をもってきたので、上手に作ったね、とほめた。すると彼女達は、お母さんが作ってくれた、と平気な顔して言ってました。驚いた。非常に驚いた。日本の大学生は、二十歳になっても自分で何もしない。自分で作れる年になってもどうして作らないのだろう。子どもは感謝しているかもしれないけど、親の態度に問題がありますね」と語っていたのが印象的だった。

（昭36学一新）



盛り場で遊んでいた子供を公園へ連れてきて暖かく見守る指導員

考古学入門 (11)

ローマングラス

形状、風化による色彩共に極めて品位のあるローマングラスで製作年代はおよそ2〜4世紀と推定される。総高8.4㎝、口縁径6.65㎝、くびれ部径4.2㎝、胴部最大径8.1㎝。

（文学部考古学資料より）

移転

▽浅羽福士（昭四四学二経）大阪市北区老松町三―五五東興ビル三三六大阪サポート社内▽池田武司（昭三五学一法）吹田市日の出町一―一七▽井上義之（昭三三学二経）加古川市徐原町四―四〇国鉄宿舎三二▽小木正之（昭二八学一法）大阪市東成区東小橋北ノ町三―七四▽神津田出夫（昭三三学二法）大阪市東住吉区東鷹合町三―二▽川崎宋太（昭四三学一商）滋賀県大津市石山寺辺町三五―二〇県営住宅石山団地三三―二〇二▽実平益弘（昭四四学二経）神戸市真舞区八幡通五―六▽宮村泰夫（昭四四学二商）高槻市弥生ケ丘町六―一▽平田滋（昭四三学工機Ⅱ）神戸市灘区森後町一―三―二五▽広瀬和男（昭四四学一法）埼玉県北足立郡新座町大字北野七七サンケン電気㈱業風寮内▽福沢興夫（昭三九学一法）芦屋市呉川町一五A―二〇六国鉄宿舎▽福富誠一（昭三九学一商）延岡市川島町三〇〇五▽福畑忠雄（昭一八専二経）名張市稲梗ヶ丘三―一―三▽藤原茂樹（昭三九学一法）神戸市東灘区魚崎北町八―三―二八▽文野靖意（昭一六専二法・昭一九大法）習志野市神浦一―二―五▽古川浩（昭三七学一法）倉敷市▽古本博文（昭三三学二政）加古川市東神吉町出河原七三三大和ハウス東神吉ネオポリス二〇号▽細見定夫（昭三三学一商）茨木市春日五―一―一九関西相互銀行茨木寮▽前田光雄（昭四二学二経）京都府乙訓郡長岡町大字開田小字天神山一―二キリンビール長岡天神社宅三〇一号▽松浦和寛（昭四五学工金）東京都大田区新蒲田一―一五―六新蒲田アパート一〇二号▽松田康雄（昭四四学一法）豊中市桜の町六―一九―三九▽松本潤（昭二七学一法）高知市中秦泉寺六一▽真鍋輝夫（昭二〇専二経）神戸市兵庫区鈴蘭台南七―八―三一▽真鍋幸裕（昭四二学工化）尼崎市下倉満井勢喜一七〇―二〇▽溝淵初男（昭三〇学一経）福岡県田川郡香春町中津原一二五一―六▽村田賢一（昭四〇学一法）羽曳野市高鷲一―三四六―八▽森昭一郎（昭四一学一経）春日井市印田山町一八二一―一藤山台団地三六九―五〇四▽森本英甫（昭四三学工金）大阪市住吉区帝塚山西三―四三▽山神庸宏（昭三四学一商）大阪市城東区今津町六九二―四▽山本敬一郎（昭四〇学工電）兵庫県加古郡稲美町中村一四円光寺内▽山本宗克（昭四〇学工電）横浜市磯子区洋光台二丁目三―一三一▽横山享史（昭三九学一国）八尾市長池町一―四五六▽米田健次郎（昭四一学一法）枚方市南中振町二―三六―三―二一▽米谷茂雄（昭三三学一法）枚方市大字楠葉三二八六―八▽米満栄三（昭四四学一経）大阪市七―七五〇▽脇中春彦（昭四五学一経）大阪市東住吉区平野馬場町八―三五▽和田一美（昭三八学一法）奈良県北葛城郡新庄町大字走田八六一三〇東和苑二三〇号▽渡口勝彦（昭四二学一法）東京都中央区新富町一―一三日精寮▽渡辺佳門（昭三七学一商）豊中▽水栗荘三―一―一六▽渡辺宋夢（昭四五学一法）大阪市港区白岡元町二―四―四三波除▽万代一男（昭四五学一法）長野県大町市大字平七七九▽吉沢英一（昭四五学工金）仙台市米ケ袋三八五東寿物寮内▽和田俊沈（昭四二学二経）東大阪市下小阪二〇〇―一八戸の里団地五〇二▽和田敏（昭四四学一法）和歌山県有田郡湯浅町九九三▽渡辺徳門（昭三学一商）豊中市永楽荘三―一―一六▽渡辺宋夢（昭四五学一法）大阪市港区白岡元町二―四―四三波除会館二号▽岩崎佳一（昭三三学一法）宇治市大久保町長谷一四―八七▽岩田勝（昭二六学一新）高槻市柳川町二―二〇―一四▽上田修（昭四四学一経）神戸市兵庫区田田町長谷字十ノ開地一一―八▽上田譲（昭一七学二法）高槻市西貞上一―二一―七▽江本憲司（昭二八学一法）芦屋市大枡町三―五▽岡弥太郎（昭二学一法）池田市西本町二―一六▽開野甲子（大二専二法）大阪市市平井東城丸一八一六【大和ハウス工業㈱】▽角野勉（昭一八短一）大阪市天王寺区小橋四―一〇▽勝章（昭三五学二商）東大阪市都島区毛馬町三―一―一三松葉方▽中矢ケ丘町六―一▽市弥生ケ丘町六―一▽市蟹合区八幡通五―六▽宮村泰夫（昭四四学二商）高槻市▽実平益弘（昭四四学二経）神戸市真舞